

まちに活気・まちに愛着・まちに自信

“豊かな自然と魅力的な人にめぐまれ、活気に満ちたまち”をめざして

第2次設楽町総合計画

「ともに考えまい。」

概要版

中間見直し

ともに考え まい。

設楽町長 土屋 浩

「ともに考えまいプロジェクト」を進めます

このまちに「住みたい」と思っている住民のみならず、将来を担う若者や子どもたち、町外から移住したり、訪れるみなさんが、

「住んでよかった」

「訪れてよかった」

「関わってよかった」

と思えるようにしていくためには、まちづくりや地域の様々な活動等に対して、否定ばかりせず、応援したり、一緒にやろうという雰囲気が広まっていくことが大切です。

これまでの4地域における自治活動や地域内のコミュニティ活動を生かしつつ、さらに小単位での意欲的な活動の活発化を図るなどして、一歩ずつ一緒にやろうという雰囲気づくりを進め、行政と住民、事業者、地域組織等との「協働」の好循環を創り出していきます。

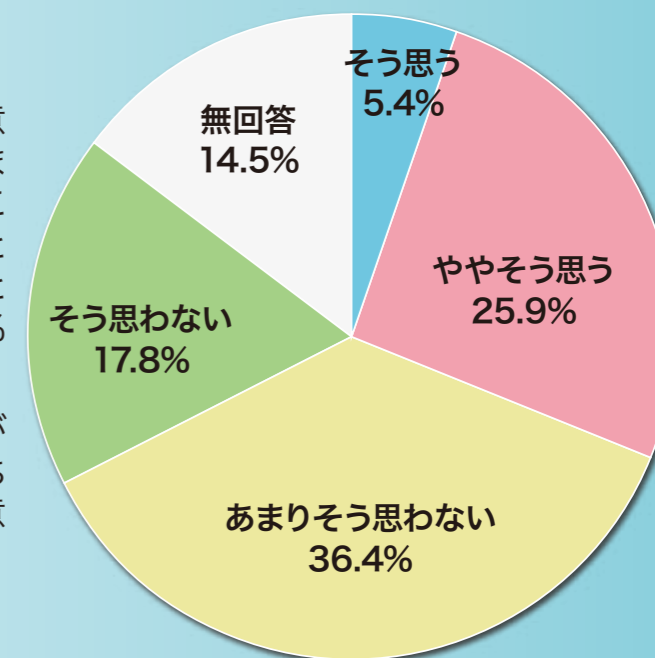
その結果、「まちに活気」が少しずつ取り戻され、それに関わり、取り巻く人たちが「まちに愛着」を抱き、それが広まることにより、「まちに自信」がもたらされると考えられます。

そこで、これまでの「早よやらまいかプロジェクト」の実施状況を踏まえ、「協働」のまちづくりに向けた取り組みを「ともに考えまいプロジェクト」として、今後、集中的に展開していきます。

～聞いてみました～「今後、まちづくりに関わりたい」と思いますか？

令和4（2022）年9月に実施した「町民意識調査」（回収率 60.7%）において、「今後、まちづくりに関わりたい」と思うかたずねたところ、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると 31.3%となっていますが、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせると 54.2%となっています。

まずは、行政、住民、事業者、地域組織等が「ともに考え」、より多くの町民が「今後、まちづくりに関わりたい」と思えるよう、理解や意識を高めていく必要があります。

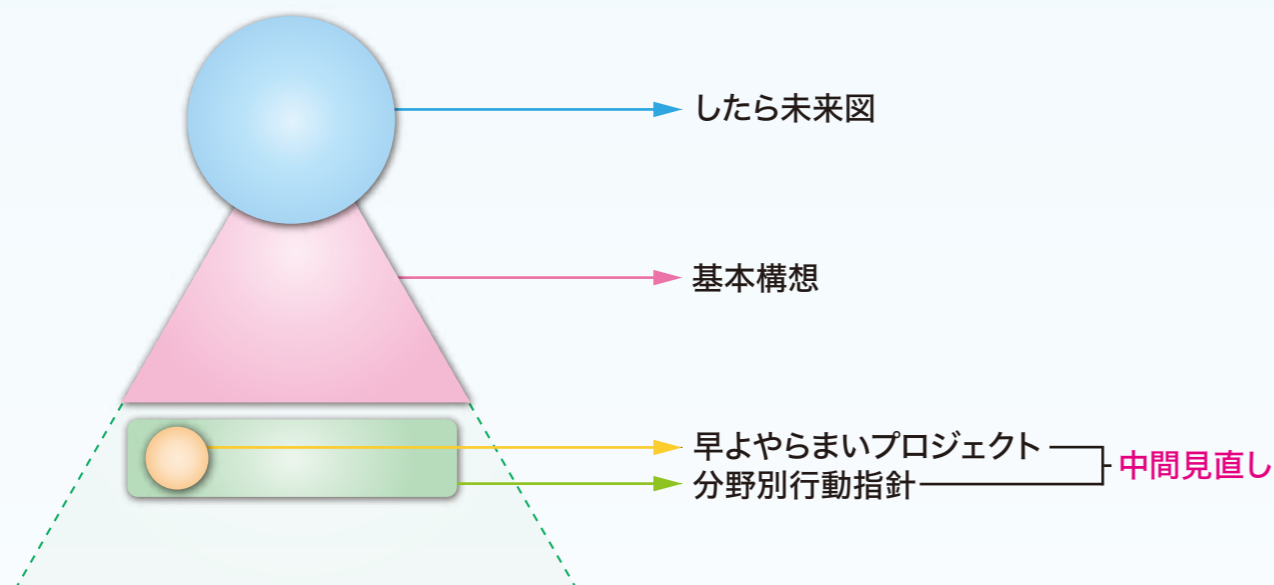


どうして中間見直しをしたの？

「第2次設楽町総合計画」は、平成29(2017)年度から令和8(2026)年度までを計画期間とする、まちづくりの最上位計画です。この計画は、「したら未来図」、「基本構想」、「分野別行動指針」で構成しています。このうち「分野別行動指針」は、社会情勢に柔軟に対応するため、中間年度に見直しを行うこととしています。また、この計画を策定する際、「分野別行動指針」の中から当初5年間で取り組むべき重要かつ分野横断的な課題に対する施策「早よやらまいプロジェクト」を掲げました。

計画策定から5年が経過したため、「早よやらまいプロジェクト」など、計画の進捗状況等を踏まえつつ、「分野別行動指針」の中間見直しを行いました。

○総合計画策定時の構成



どれくらい進んでいるの？

「早よやらまいかプロジェクト」の実施状況は、令和3(2021)年度までに18項目中、9項目が「プロジェクトを実行し、継続して管理等している」状況で、8項目が「プロジェクトを推進し、実現に向けて取り組んでいる」状況ですが、「4地域(田口・名倉・清嶺・津具)で小規模多機能自治組織を目指すとともに、地域計画を策定します」のみ「プロジェクトに着手したものの、見直しが必要」な状況となっています。

評価基準	該当プロジェクト
◎プロジェクトを実行し、継続して管理等している	「使われていない農業ハウス等施設の再利用制度を創設します」「保育園の延長保育時間を拡大します」など9項目
○プロジェクトを推進し、実現に向けて取り組んでいる	「設楽ダム建設に伴う周辺整備や湖面利用について具体化して取り組みます」「田口地区の公共下水道を整備します」など8項目
△プロジェクトに着手したものの、見直しが必要	「4地域(田口・名倉・清嶺・津具)で小規模多機能自治組織を目指すとともに、地域計画を策定します」

何をめざしているの？

この計画の「基本構想」において、まちの将来像を次のように定めています。

まちに活気・まちに愛着・まちに自信

“豊かな自然と魅力的な人にめぐまれ、活気に満ちたまち”をめざして

また、この将来像を実現するためには、行政・住民・事業者などのまちづくりの担い手が共通認識を持ち、自分たちのまちを盛り上げていく意識が必要不可欠であるため、みんなが共通して認識すべき基本理念を次のように定めています。

したらの「人」が輝く したらの「自然」が活きる したらの「まち」が持続する

さらに、この将来像の実現に向けた町の行動指針として、次のように6つの分野ごとに施策の方針等を定めています。

- (参画協働)
- 1 みんなが主役の全員協働のまちづくり
- (自然共生)
- 2 森と水が活きる環境共生のまちづくり
- (産業振興)
- 3 地域産業の魅力と活力にあふれるにぎわいのまちづくり
- (居住環境)
- 4 安全で快適な暮らしやすいまちづくり
- (安心福祉)
- 5 支えあいと助けあいによる安心福祉のまちづくり
- (教育文化)
- 6 人とまちの未来を育む教育文化のまちづくり

どんなことに取り組んでいくの？

「分野別行動指針」においては、主に次のような重点施策を掲げています。

なお、推進中の「早よやらまいかプロジェクト」については、今後、「分野別行動指針」における重点施策等に位置づけ、取り組みの推進や更なる充実を図っていきます。

1 みんなが主役の全員協働のまちづくり

- ◎協働理解に関する勉強会の開催
- ◎特定地域づくり事業協同組合を活用した魅力ある町であることの広報活動
- ◎起業やベンチャーなどのチャレンジへのバックアップ体制づくり
- ◎まちの課題解決等に継続的に関わる機会の提供による関係人口の創出・拡大
- ◎男女共同参画住民会議を通じた男女共同参画施策の推進
- ◎現状と将来性を見据えた行財政運営に基づく適正な事業実施
- ◎各施設(類型ごと)の再編計画(個別計画)による公共施設保有量の縮減(延床面積の削減)

2 森と水が活きる環境共生のまちづくり

- ◎環境保全意識向上のための取り組みの推進
- ◎間伐の積極的な推進
- ◎河川の適切な維持管理等の実施による自然に親しみやすい環境づくり
- ◎森林資源について木質バイオマス等による効率的な利活用の充実
- ◎東三河森林活用協議会の着実な運営及び有効活用施策の検討・推進
- ◎分別収集の徹底によるごみの減量化や資源リサイクルの推進
- ◎ポイ捨てや不法投棄等、ごみを捨てづらい環境づくり

3 地域産業の魅力と活力にあふれるにぎわいのまちづくり

- ◎産業を担う人材の確保と育成支援
- ◎地域産業と連携し、かつ地域づくりと連動した観光振興
- ◎遊休農地の削減や未利用農業施設等の有効活用の推進
- ◎低質材(チップ材等)の搬出量の増加及び有効活用の検討
- ◎きららの森の新たな整備
- ◎道の駅をはじめとする観光施設と連携した、観光入込客を呼び込むための取り組み
- ◎商工会と連携した取り組みによる、町内商店等の利用の促進
- ◎関連事業者等と連携した、特産品や地域資源の発掘、情報発信等
- ◎設楽ダム周辺整備や湖面利用にかかる具体的検討
- ◎創業支援事業計画に基づく起業支援の実施

4 安全で快適な暮らしやすいまちづくり

- ◎町営住宅のストックの現状、入居世帯の状況及び住宅事情を踏まえた、ニーズに合ったストック計画の策定
- ◎移住定住戦略を考慮した住宅整備の実施
- ◎設楽町簡易水道事業耐震化等整備計画に基づく、地震や台風等の災害に強い給水施設の整備
- ◎ネット環境が混み合う時間帯でも不便なく使えるよう検討
- ◎適正な土地の運用及び維持管理のための地籍調査の継続実施
- ◎公共交通の利便性を確保するための取り組み
- ◎地域住民の整備要望等を踏まえた、安心安全に利用できる道路整備・維持修繕の実施
- ◎ダム事業に関連する道路整備にかかる、水源地域整備計画・振興計画に基づく計画的な実施
- ◎消防・救急体制の充実に向けた具体的な取り組み
- ◎防災訓練などを通じた住民の防災意識の向上
- ◎公的施設や一般住宅の耐震化の推進
- ◎田口地区における公共下水道の整備推進

5 支えあいと助けあいによる安心福祉のまちづくり

- ◎各年齢層に応じた健康づくり活動の充実
- ◎助産師相談や妊産婦教室などの相談体制の整備
- ◎不妊治療費の助成を継続実施
- ◎保育園の延長保育時間の拡大に向けた体制づくり
- ◎障害者の就労先の確保
- ◎福祉分野の自主団体の活動継続・拡充の支援
- ◎地域包括ケア体制の推進
- ◎在宅生活が困難な高齢者等の居場所や生活支援策の確保
- ◎つぐ診療所における地域医療連携ネットワークの整備推進
- ◎住民や行政、福祉・医療の関係機関等による連携体制の更なる充実

6 人とまちの未来を育む教育文化のまちづくり

- ◎学校規模適正化の着実な推進
- ◎児童生徒の健全な育成
- ◎小中学校におけるICT学習の更なる推進
- ◎生涯学習やスポーツ行事等の充実による地域活力の向上
- ◎人材育成研修の方向性の整理と事業の充実
- ◎両図書館の特徴を生かした利用の促進
- ◎奥三河郷土館等収蔵展示施設の利活用と文化財の周知
- ◎田口高校の魅力化の推進

これらの取り組みについても「ともに考え」ていきましょう。



第2次設楽町総合計画 中間見直し 令和5(2023)年3月 設楽町

〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地
TEL 0536-62-0511 FAX 0536-62-1675